

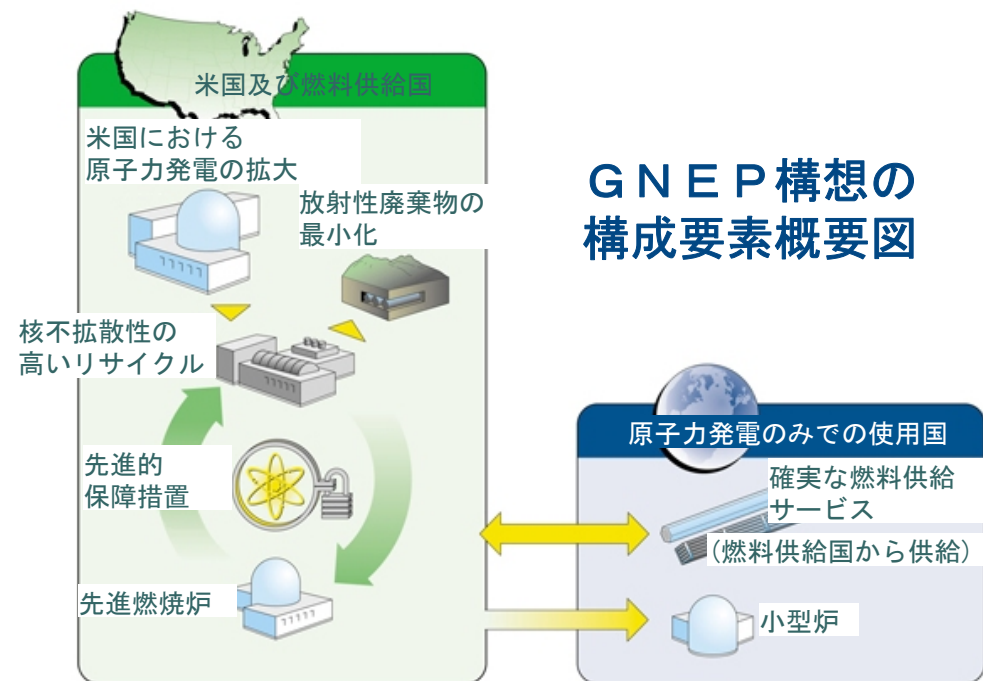


# GNEPの概要

資料 9  
科学技術・学術審議会  
研究計画・評価分科会  
原子力分野の研究開発に  
関する委員会  
(第23回)  
H19. 2. 15

○正式名称は、「Global Nuclear Energy Partnership (国際原子力エネルギー・パートナーシップ)」

○2006年2月、米国エネルギー省(DOE)が、核拡散の脅威を削減するとともに、環境に優しいエネルギーを世界中に広めることを目的としたGNEP構想を発表。米国はGNEP参加国として、米、英、仏、露、中、日の6ヶ国を想定。





## 最近のGNEPを巡る動き

当初米国は、国立研究所を中心として革新的な再処理技術を前提にした理想的かつ長期的な研究開発計画を提示していたが、2006年8月に、GNEP計画の加速を目的として、産業界の既存技術を活用するTrack 1と、従来の計画どおり国立研究所を中心として研究を進めるTrack 2の、2トラック方式の採用を発表。



### ・ Track 1

○DOEが2006年8月に、産業界が保有している既存技術の活用による施設開発の早期立上げを目指して実施した、ABR (Advanced Burner Reactor : 先進的燃焼炉) とCFTC (Consolidated Fuel Treatment Center : 統合核燃料取扱センター) についての、国内・外からの提案を募るためのEOI (Expressions of Interest) に、国内メーカー・JAEA連名で技術提案を実施。

### ・ Track 2

○今後の協力の進め方・具体的な協力項目等について、現在日米間で協議を継続中。